

令和6年能登半島地震からの復興へ

“被災された会員へのお見舞い”を目的とした

救援募金にご協力を

今年1月1日に発生した地震及びその後の余震等の影響により、石川県能登地方や富山県西部をはじめとする地域が甚大な被害を受けました。

富山県保険医協会では“被災された会員へのお見舞い”を目的に救援募金に取り組むことといたしました。ご協力をお願いいたします。

ゆうちょ
口座間

記号番号 00700-3-397
加入者名 富山県保険医協会

他銀行間

銀行名 ゆうちょ銀行(9900)
店名 〇七九店(079)
種別 当座
口座番号 0000397
口座名 富山県保険医協会

※送金手数料はご負担ください。

※税法上の取扱いについては関与税理士にご確認ください。

【救援募金について】

- ◇今回の救援募金は「被災会員を激励する見舞金に充てること」を目的としてご協力をお願いしています。被災者や地域全般への支援の目的での活用を希望される場合は、日本赤十字社などの義援金・募金等をご利用ください。
- ◇救援募金の領収証をご希望の場合は、協会事務局までご連絡をお願いいたします。入金確認後、協会より領収証を送付いたします。

能登半島地震から1カ月以上が経過して

このたびの能登半島地震でお亡くなりになった方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日もはやい復旧・復興を願ってやみません。

とりわけ石川県内における被害は甚大です。能登地方を中心に240人もの方々が震災直接死、震災関連死でお亡くなりになり、いまだに12人の方々が安否不明とされています。輪島市や珠洲市を中心とした家屋被害は大規模であり、発生から1カ月以上を経過した現在も、1万4千人を超える方々が一次避難所や二次避難所での避難生活の継続を余儀なくされています。電気及び水道等ライフラインの完全な復旧はまだ先になると見込まれていることに加え、津波などの被害を含めた全容の把握もこれからになると思われまます。

また、富山県内においても県西部を中心に、建物の損壊や断水など多くの被害が報告されています。液状化による被害も深刻で、家屋損壊の公表件数は日を追うごとに増加しています。

救援募金、全額を被災会員に

当協会ではこうした被害状況の把握に努めるとともに、被災された会員の皆様に支援するために、1月度理事会において当協会としても救援募金に取り組むことや被災会員への具体的な支援策について検討すること、また、特に被害の大きい能登地方の復旧・復興に向けた石川県保険医協会への協力体制などを確認しました。

救援募金につきましては当協会が取りまとめ、全額を被災会員、被災協会へ寄付いたします。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2024年2月5日

富山県保険医協会 会長 川瀬 紀夫

※上記の人数は2月4日時点の内閣府、石川県の公表内容より

※2月9日時点では、死者241人、安否不明者11人、石川県内の一次及び一・五次、二次避難所への避難者数1万2500人超と報告されている（内閣府、石川県の公表内容より）